

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



「森林・林業技術視察プログラム」の取組について

【森林技術・支援センター】

森林技術・支援センターは、全国7箇所にある森林管理局に1箇所ずつ設置され、近畿中国森林管理局では岡山県新見市に所在し、森林・林業に関する技術開発及びその成果の民有林への普及業務を中心に担っています。

国有林野事業の技術開発については、民有林への普及も念頭に、(1) 林業の成長産業化に資する造林・保育・生産技術の確立、(2) 公益的機能の高度発揮のための森林施業及び保全技術の確立、(3) 効率的な森林管理及び健全な森林の育成技術の確立、の3つを基本目標に設定することとしています。

当センターにおいても、これまで列状間伐試験地、コンテナ苗植栽試験地、早生樹試験地（センダン、コウヨウザン）、里山広葉樹資源の有効活用及び天然更新技術に関する試験地、UAV（ドローン）、地上レーザ計測などICT機器活用による森林資源の効率的な森林管理など様々な実証事例に取り組んできましたが、これらの成果をいかに民有林の森林・林業関係者の方々に伝えていくかが課題となっています。これらの課題の解決手法の一つとして、当センターでは、どのような技術開発の取組が視察できるかを分かり易くまとめた「森林・林業技術視察プログラム（以下「プログラム」という。）」を作成し、広く情報発信に努めることとしました。

このプログラムには、コンテナ苗、早生樹、列状間伐、スマート林業など9つのメニューがあり、それぞれのメニューの視察ポイントや時間などを記載することで、参加者の方々のご都合や興味ある取組を効率的に組み合わせていただけるようにしています。また、「森林施業コース」、「低コスト育林コース」、「バラエティコース」などメニューを組み合わせた4つのお勧めコースを半日、全日単位に分けて準備し、森林・林業初心者の方々でも気軽に参加いただけるよう工夫を行っています。

森林・林業技術視察プログラムの概要

未来を拓く技術の森

森林・林業技術視察プログラム







林野庁 近畿中国森林管理局
森林技術・支援センター

Forest Technology and Support Center

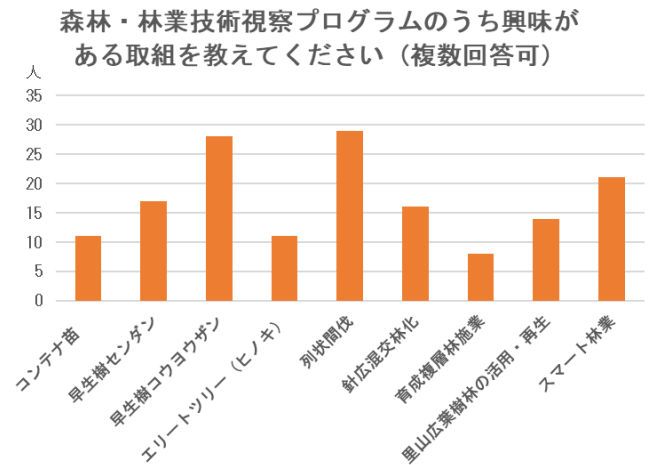
| 項目 | メニュー | 視察ポイント | 視察時間 |
|-----------------|--------------|---|------|
| 植栽 | コンテナ苗 | ○コンテナ苗の育成状況、植栽時期別の育成状況 ○下刈り省略林分での育成状況・無下刈り区の育成状況 | 40分 |
| | 早生樹センダン | ○瀬戸内式気候での早生樹センダンの育成状況 ○施肥の有無による成長の相違 | 30分 |
| | 早生樹コウヨウザン | ○コウヨウザンの育成状況、スギとの成長比較 ○ノウサギ被害の状況や被害対策、萌芽による再生状況 | 30分 |
| | エリートツリー（ヒノキ） | ○エリートツリーの初期成長 ○コンテナ苗植栽時期による成長の相違 | 30分 |
| 間伐 | 列状間伐 | ○初めての列状間伐から30年経過した林分の状況 ○無間伐林分等との比較 | 60分 |
| 針広混交林化 複層林施業 | 針広混交林化 | ○列状間伐実施後の高木性広葉樹の状況、3伐6残の幅広の列状間伐の状況 | 60分 |
| | 育成複層林施業 | ○下木の育成状況 ○上木伐採に伴う下木の損傷状況 | 30分 |
| その他 | 里山広葉樹林の活用・再生 | ○里山林の整備・活用手法 ○天然更新（天然下種更新、萌芽更新）の状況 | 60分 |
| | スマート林業 | ○地上レーザスキャナによる高精度な森林情報の収集 ○ドローンで撮影した写真を用いた林分析 | 60分 |

令和4年度はこのプログラムに基づき9回の現地視察（令和5年2月末現在）が行われ、コロナ下にも関わらず民有林の森林・林業関係者の方々延べ120名にご参加いただきました。参加者の方々にはアンケート調査を実施し、我々職員の取組に対する評価等も行っていただき、プログラムのさらなる充実に努めました。

アンケート調査の一例を紹介すると、「プログラムのうち興味がある取組を教えてください（複数回答可）」との問いに対しては、早生樹（コウヨウザン）、列状間伐、スマート林業の取組に関心を示される方が多く、国有林に求められているニーズなども把握できました。

また、「現地研修の内容は理解できましたか」の問いに対しては、「理解できた、概ね理解できた」と回答していただいた方が8割程度となり、我々職員の説明への理解度も検証することができました。このほか、「次回もこのような現地視察があれば参加したいか」の問いに対しては、9割以上の方が「参加したい」と回答があり、このプログラムに対する関心の高さも伺えました。

参加者の方々からのこのような貴重なご意見に耳を傾けつつ、令和5年度の実施に当たっては、新たな視察メニューの追加や出張講座の実施などプログラムのさらなる充実に努めていきたいと考えています。



高校生への研修の様子（令和4年7月）



市町村職員への研修の様子（令和4年11月）

当センターでは引き続き、このプログラムを活用しながら、地方公共団体等の職員、森林組合、林業事業体、地域林業の担い手として期待される学生など民有林の森林・林業関係者の方々の技術的支援を積極的に行ってまいりますので、現地視察のご要望等がございましたらお問い合わせください。皆様のお越しをお待ちしています。

森林・林業技術視察プログラムに関する情報はこちら→

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g_center/shisatsu_program.html



近畿中国森林管理局の職員が令和4年度人事院総裁賞を受賞しました。

【保全課】

近畿中国森林管理局 計画保全部 保全課 保護係長の
小林 正典こばやし まきのり氏が令和4年度人事院総裁賞*の個人部門を受賞しました。

個人部門での受賞は林野庁では初めてです。授与式は2月27日(月)に明治記念会館(東京都港区)で行われました。

受賞した理由は「新たな野生鳥獣捕獲手法を考案し、農林業の課題である獣害対策に尽力したこと」です。

「小林式誘引捕獲法」は、小林氏が平成27年度から平成29年度までの和歌山森林管理署在勤中、国有林でも植

栽木や治山事業地でシカの食害が多く見られたことから、試行錯誤を繰り返し、シカ等の野生鳥獣による農林業への被害軽減に資するため、初心者でも簡単に罠を設置でき捕獲効率も高い、新たな野生鳥獣(シカ、イノシシ)の捕獲

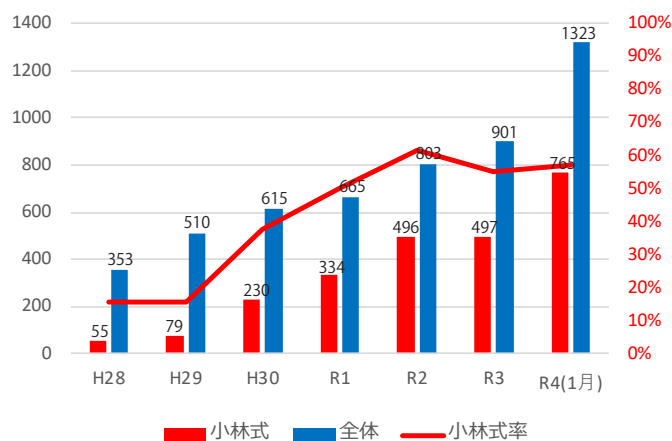


人事院総裁から賞状を授与される小林氏



宮崎県内での検討会の様子(令和3年11月)

近畿中国森林管理局によるシカ捕獲頭数の推移



方法を考案しました。

近畿中国森林管理局では、小林式誘引捕獲法の導入に伴い、シカの捕獲頭数が年々増加し、令和4年度(1月)までの7年間で3.7倍以上の捕獲を達成し、近畿中国森林管理局によるシカ捕獲頭数のうち、近年は約6割が小林式誘引捕獲法によるものです。小林氏は、現在、全国各地で開催される現地検討会や研修会などに講師として出向いて同捕獲法の普及に努めています。

近畿中国森林管理局では、これからも現地検討会などの機会を通じて更に「小林式誘引捕獲法」を普及することにより農林業の重要課題である獣害対策に寄与してまいります。

※人事院総裁賞とは

多年にわたる不断の努力や国民生活の向上への顕著な功績等により、公務の信頼を高めることに寄与した国家公務員(個人又は職域)を年1回表彰するものです。受賞者の職務に精励する姿を通じて公務に対する国民の皆様の御理解をいただくことも目的としています。受賞者は、各界有識者からなる選考委員会が各府省等から推薦された候補について厳正な審査・選考を行い、その結果に基づいて人事院総裁が決定します。

インターンシップ in 奈良森林管理事務所

【奈良森林管理事務所】

2月22日（月）～21日（火）の2日間、当所が実施したインターンシップに、北は新潟県から南は宮崎県まで多方面の地域から大学生等4名が参加しました。

インターンシップは就業体験を通じて、学習意欲を喚起するとともに、高い職業意識の育成と林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

初日は管内概要により当所の特色を



UAV（ドローン）の操縦体験

説明した後、林業専用道の工事箇所を視察のうえ、トランシット・レベルによる測量及びUAV（ドローン）の操縦を体験。その後、治山施設に移動し治山事業の重要性を説明した後、昨年度実施した伐採と造林の一貫作業によるコンテナ苗植栽地を視察しました。

二日目は「古事の森」の視察、測樹、境界管理及び獣害対策など幅広く体験しました。



境界巡検の実習

二日間とも小雨や雪が舞うなど非常に寒い中での体験となりましたが、職員の説明に学生達は熱心にメモを取るなど活発な意見や質問などが出ました。

最後に所に戻ってふりかえりを行いました。4者4様でそれぞれ関心事が違うのが印象的でした。

「令和4年度 小舟山地域森林整備推進協定連絡調整会議」を開催しました。

【鳥取森林管理署】

2月27日（月）鳥取第3地方合同庁舎2階小会議室において、若桜町、鳥取水源林整備事務所、八頭中央森林組合、鳥取森林管理署による小舟山地域森林整備推進協定連絡調整会議を開催しました。

この会議は、民有林と国有林が連携して森林整備に取り組むことで、広域的に森林の持つ多面的機能の高度な発揮を促すとともに、地域の森林、林業及び木材産業の活性化を推進するために毎年開催しています。

初めに、4者からそれぞれ令和4年度の事業実績報告と令和5年度以降の事業予定についての説明を行いました。

その後、当署から森林整備推進協定内での路網作設及び協調出荷についての説明等を行い、協定者間で情報共有を図ることでスムーズな事業実行につながる有意義な意見交換ができました。



会議の様子

当署では、今後とも民有林・国有林が連携して、一体的で効率的な森林整備を推進し、林業・木材産業の成長産業化に継続して取り組むことで、2050年カーボンニュートラルに寄与する「グリーン成長」の実現を目指します。



福井森林管理署長がふくい林業カレッジで講義を行いました。

【福井森林管理署】

2月1日(水)、ふくい林業研修センター(福井県坂井市)において、ふくい林業カレッジの研修生8名に対し、福井森林管理署長が講義を行いました。

ふくい林業カレッジと福井森林管理署は平成30年5月に連携と協力に関する協定を締結しており、その協力の一環として講義や現地実習を行っています。

今回の講義は、「国有林について」と題し、林野庁・森林管理局署が行う国有林野の管理経営について、民有林と対比し分かり易く説明しました。研修生からも多くの質問があり、研修終了後の林業への就業に向けた意欲が感じられる研修となりました。



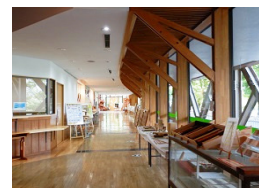
ふくい林業研修センター



講義の様子

お知らせ

森林のギャラリー(局庁舎1階)



【技術普及課】

○3月6日(月)～3月24日(金)の展示は、鳥取県八頭町、里山広葉樹の活用について(技術普及課)です。ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【三重森林管理署】

○大杉谷国有林からの手紙(58通目)を発行しています。これまでのバックナンバーを載せていますので、ぜひご覧下さい。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/information/oosugitegami_058.html



【福井森林管理署】移転のお知らせ

福井森林管理署では、2月27日(月)に庁舎を下記の住所に移転したのでお知らせします。

〒910-0019 福井県福井市春山1-1-54 福井春山合同庁舎8階 電話050-3160-6105

下記のホームページでお知らせしています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/fukui/information/20220411.html>



【島根森林管理署】移転のお知らせ

島根森林管理署では、2月27日(月)に庁舎を下記の住所に移転したのでお知らせします。

〒690-0841 島根県松江市向島町134-10 松江地方合同庁舎6階 電話050-3160-6130

下記のホームページでお知らせしています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/simane/information/230206.html>



花草木

【ロウバイ】

蟬梅（ロウバイ）は中国を原産とする落葉低木で、江戸時代初期、^{ごみずのお}後水尾天皇の時代（1611～1629年）に朝鮮半島を経由して日本へ渡来し、観賞用として庭園や公園に植栽されています。黄色いウメと勘違いされやすいですがウメの仲間（バラ科サクラ属）ではなくロウバイ科ロウバイ属になります。

ロウバイの開花の時期は11月～1月頃です。厳冬期の庭を彩る貴重な花木であり、文人画の世界ではウメ、サザンカ（ツバキ）、スイセンと共に「雪中四友（雪中四花）」に数えられ雪の中で咲く花の一つです。

蟬細工のような黄色い花は人工的な質感で、好みは分かれるものの大変に香りが強く、年末年始を彩る切花としても人気があります。

街中で見掛けるロウバイの多くは、全ての花卉が黄色い園芸品種であるソシンロウバイ等であることが多く、ロウバイは少ないようです。ロウバイの花はソシンロウバイに比べると小さくて地味であり、香りも弱いです。

ロウバイの花言葉は、親が子をいつくしむような深い愛情を意味する、「慈愛」です。



市内の公園で見つけたロウバイ（ソシンロウバイ）

我が署のスタッフ 滋賀森林管理署 宮崎 実周（みやざき じっしゅう）（令和4年度採用）

【現在取り組んでいる仕事は？】

業務グループに所属し、官用車の管理や造林、資源活用など幅広い分野の業務に携わっています。林業とは関係のない分野から入ってきた事務官ですが、現場に出る機会も数多くあり、勉強の日々です。経験豊富な先輩の指導の下、事業発注事務や測量、さらには樹木の見分け方まで様々なことを学んでいます。初めて経験することばかりなので楽しく業務に取り組んでいます。

【職場の雰囲気は？】

和やかで話しやすい雰囲気だと思います。わからないことは何でも聞くことができ、丁寧に教えていただけます。また、年次休暇も取得しやすく、プライベートも充実させられる職場だと思います。

【林野庁の魅力は？】

事務官でも技官と同様に現場に出られることだと思います。話に聞くだけでなく、実際に山を歩き自分で見て触られることは大きな魅力だと思います。体を動かすことでリフレッシュにもなり、やる気が湧いてきます。



先輩からアドバイスを受けています。

森林事務所紹介

大田森林事務所(島根森林管理署)

森林官 加藤 貴明(かとう たかあき)

島根県中央部に位置する大田市と大田市近隣の国有林を管轄しているのが、大田森林事務所です。

まず、おおえたかやま大江高山国有林は、いわみぎんざん世界遺産石見銀山を生んだ「大江高山火山群」の一角にあり、国有林の一部も世界遺産となっています。また、希少な昆虫や草花の生息地でもあり、地元の方々の活動により守られています。



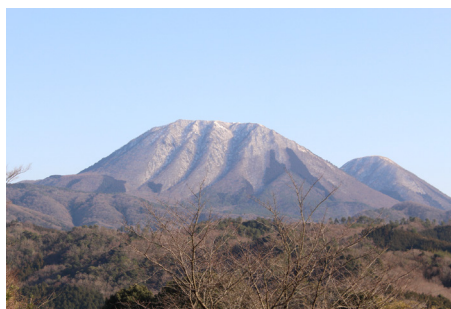
ミスミソウ



イズモコバイモ

大江高山の草花

保護を巡る状況は年々厳しさを増していますが、当事務所としても継続的に協力していきます。



様々な姿を見せる三瓶山

次に、さんべさん三瓶山国有林にある三瓶山は、大山や隠岐とともに国立公園となっているほか、中国地方では稀な活火山に指定されています。火口の周囲に複数の溶岩ドームが並んだ形状は独特であり、その雄姿は古代より特別視され、国引き神話で有名な出雲国風土記にも登場します。ブナ・スギの天然林、人工林、草原など変化に富んだ環境を擁し、観光・登山客の絶えない山で、大田市・飯南町・美郷町・島根県・環境省と連携しつつ三瓶山の保護・管理に取り組んでいます。



農林大学校の実習の様子

他方、当署では島根県立農林大学校と協定を結び、現地実習の場として国有林のフィールドを提供しています。元気な学生達が収穫調査から伐採・搬出までの実践的な実習を行っています。実習を体験した学生達は続々と近隣の林業事業体に就職し、今後ますます地域林業の活性化が期待されます。

シリーズ 『国有林 最前線！』

ICTを活用した林分調査の取組

資源活用課

国有林では、利用期に達した人工林を伐採し、将来的に均衡のとれた林齢構成に誘導するとともに、国産材の安定的・効率的な供給体制の構築に貢献することとしています。一方、林業従事者の高齢化等による担い手不足が課題となっています。このような中、素材生産や立木販売に係る立木調査において、限られたマンパワーに対応しつつ、ICT機器を活用し調査を効率かつ適切に実施していくことが求められています。

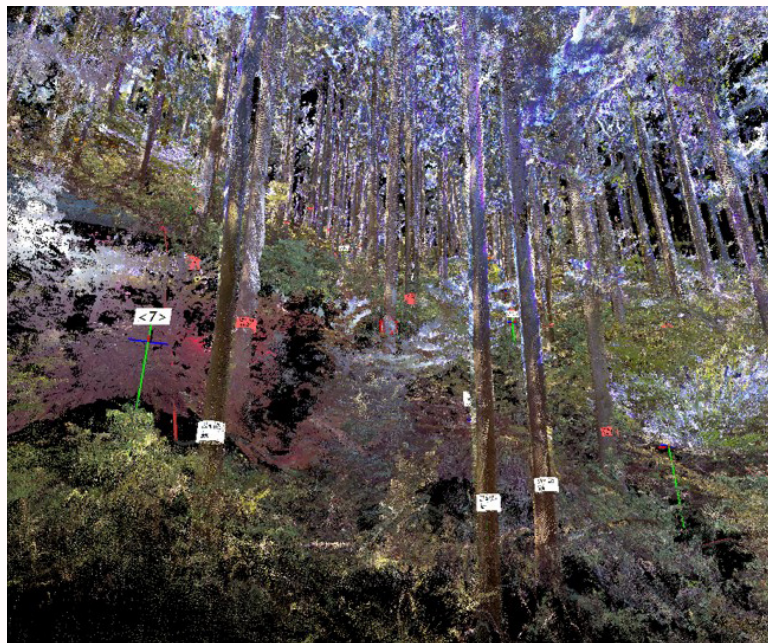
このため、近畿中国森林管理局では、地上レーザスキャナ（OWL）を導入し、立木調査の効率化を進めています。OWLを用いて計測することで、樹高、胸高直径、曲がり、面積、立木の位置、本数、材積、地形等林内の詳しい情報を得ることが可能であり、データ処理も短時間で行うことが出来ることから、これまでの立木を1本1本調べていく調査方法に比べ、効率的な調査が可能になりました。一方、機械の特性上、樹種や品質を判別することは難しく又、広範囲な面積の計測には時間がかかるため、OWLで効率的に調査を行うには、小面積かつ同一樹種の調査が適しており、主に生産事業における標準地調査^{*}で活用しています。

今後は、広範囲での調査に適した、航空レーザ計測やUAV（ドローン）による立木調査にも取り組んでいきます。

^{*}標準地調査とは、対象林分の中から平均的な林相（プロット）を任意に抽出し、標準地での調査結果を面積比によって林分全体に拡張する森林調査法。



地上レーザスキャナ（OWL）でのデータ収集



地上レーザスキャナ（OWL）で取得したデータ